

## 材料特性

### ホルムアルデヒド放散速度試験

オートグリップのホルムアルデヒド放散速度がシックハウス対策に係る技術的基準のF☆☆☆☆以下の値であることを確認する為に、JIS A 1901:2009(小形チャンバー法)にて放散速度の測定を行った。

#### 【試験体作製】

塗布基盤にオートグリップを下表の方法で指定量塗布し、下表の指定時間養生を行う。

塗布基盤	SUS 板
塗布方法	ヘラ塗り
単位面積当たりの塗布量	300g/m <sup>2</sup>
試験片の数	1 枚(2.4g/80cm)
養生時間	60 分

試験体作製および試験は温度 23℃の環境下で実施。

#### 【試験条件】

JIS A 1901:2009(小形チャンバー法)に準拠

放散試験チャンバー内の空気濃度、通過する空気量及び試料の表面積を求め、単位面積当たりのホルムアルデヒド類の放散速度を算出する方法。

- a) 小形チャンバー条件
  - 温度 : 28±1℃
  - 相対湿度 : 50±5%
  - 換気回数 : 0.5回/h(167mL/min)
  - 材質、容積 : ステンレス製 20L
  - 供給空気 : 純空気
  - エアコントロール: アドパックスシステム
- b) 試験片
  - 表面積 : 80cm<sup>2</sup>
  - 試料負荷率 : 0.4m<sup>2</sup>/m<sup>3</sup>
- c) 空気捕集
  - 捕集開始時間 : 試料設置前・設置1日後・3日後
  - 捕集管 : InertSep mini AERO DNPH(ジーエルサイエンス社製)
  - 気捕集量 : 10.0L(167mL/min)
  - サンプリングポンプ : SP208(ジーエルサイエンス社製)
- d) 分析装置 : 高速液体クロマトグラフ
- e) 試験場所 : 外部試験機関
- f) 試験日 : 2013年 7月 8日～2013年 7月 11日



【試験結果】

● 試験結果

<ブランク>

物質名	バックグラウンド ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )
ホルムアルデヒド	<2.0

<1日後>

物質名	T-BL ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	1 day	
		測定濃度 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	放散速度 [ $\mu\text{g}/(\text{m}^2 \cdot \text{h})$ ]
ホルムアルデヒド	<2.0	<2.0	<3

<3日後>

物質名	T-BL ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	1 day	
		測定濃度 ( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	放散速度 [ $\mu\text{g}/(\text{m}^2 \cdot \text{h})$ ]
ホルムアルデヒド	<2.0	<2.0	<3

※ F☆☆☆☆の放散速度基準値

$0.005\text{mg}/(\text{m}^2 \cdot \text{h}) = 5\mu\text{g}/(\text{m}^2 \cdot \text{h})$  以下

**\*\*\* 記載内容の取り扱いについて \*\*\***  
本試験報告書に記載されている全ての数値は試験による代表値であり、参考値です。保証値・規格値とは異なります。

